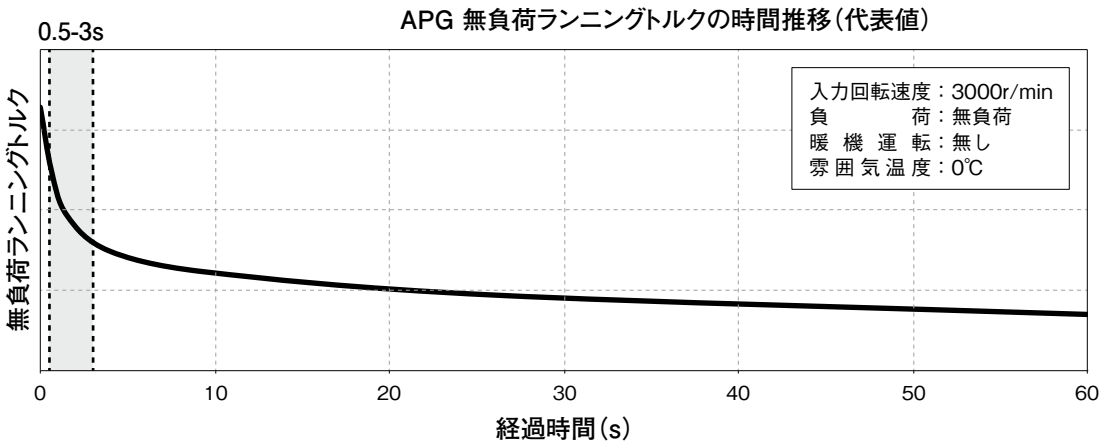


1-3. 低温起動特性(無負荷ランニングトルク(入力軸))

無負荷ランニングトルクとは、減速機を無負荷状態で定格入力回転速度(3000r/min)で回すために必要な入力軸トルクのことです。
減速機を低温時に使用すると、起動時の無負荷ランニングトルクが増加します。
運転を続けると、減速機温度の上昇に伴って無負荷ランニングトルクは減少します。
減少度合は、機種および、使用環境により異なります。
なお、下図は暖機運転を行わない状態での代表値です。



入力回転速度：3000r/min
無負荷ランニングトルク(入力軸)：0.5-3s平均値
下図は暖機運転を行わない状態での代表値です。

